



須恵器はそう 中半入遺跡



土偶 顔 鶺鴒ノ木南台地遺跡



小杯 下嵐江Ⅰ遺跡・下嵐江Ⅱ遺跡



尖頭器 下嵐江Ⅰ遺跡・下嵐江Ⅱ遺跡



ヒスイ製石帯 古城方八丁遺跡



土製灯籠 国分遺跡

発掘された奥州市の歴史

― 岩手県文化振興事業団による奥州市内の発掘調査成果を紹介 ―

岩手県立埋蔵文化財センター

第47回埋蔵文化財展



縄文 単孔土器 久田遺跡



墨書土器 杉の堂遺跡

令和8年 10/23 金 25 日

入場無料

毎日開催

展示解説会 13:30 ~



おしごとチャレンジ

もよううつしとり・土器パズル



主催：岩手県立埋蔵文化財センター（公財）岩手県文化振興事業団
共催：奥州市教育委員会（一財）奥州市文化振興財団

時間 9:30 ~ 18:00

場所 奥州市文化会館
Zホール展示室
奥州市水沢佐倉河石橋 41

お問い合わせ (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター TEL 019-638-9001 ホームページ <https://www.iwate-maibun.jp/>

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターは、バイパスをはじめとする道路建設、胆沢ダム建設、圃場整備などの公共事業に対応するため、昭和52年の発足以来、奥州市内で160件の発掘調査を行ってきました。

その成果は、旧石器時代から、江戸時代に至るまですべての時代に及んでいます。胆沢川南岸に広がる古墳時代のむら、胆沢城支配下の平安時代の集落のようす、数多く見つかった奥州藤原氏時代の遺跡など、奥州市は、県内でも他に類をみない地域といえます。

今回は近年の調査成果を中心に展示しました。発掘調査によって明らかになった先人の歴史や地域の魅力について、想いを巡らせていただければ幸いです。



出入口状の施設を持つ竪穴建物 縄文時代後期 久田遺跡（江刺）

主な展示遺跡

旧石器時代

水尻遺跡（前沢）
下嵐江Ⅰ遺跡（胆沢）など

縄文時代

大清水上遺跡（胆沢）
久田遺跡、新田遺跡、
大中田遺跡（江刺）など

弥生時代

川岸場Ⅱ遺跡（前沢）など

古墳時代

中半入遺跡（水沢）
沢田遺跡（胆沢）など

奈良時代

石田Ⅰ・Ⅱ遺跡（胆沢）など

平安時代

明神下遺跡（胆沢）など

12世紀（奥州藤原氏の時代）

接待館遺跡（衣川）など

鎌倉時代・戦国時代

作屋敷遺跡（胆沢）
中畑城跡（前沢）

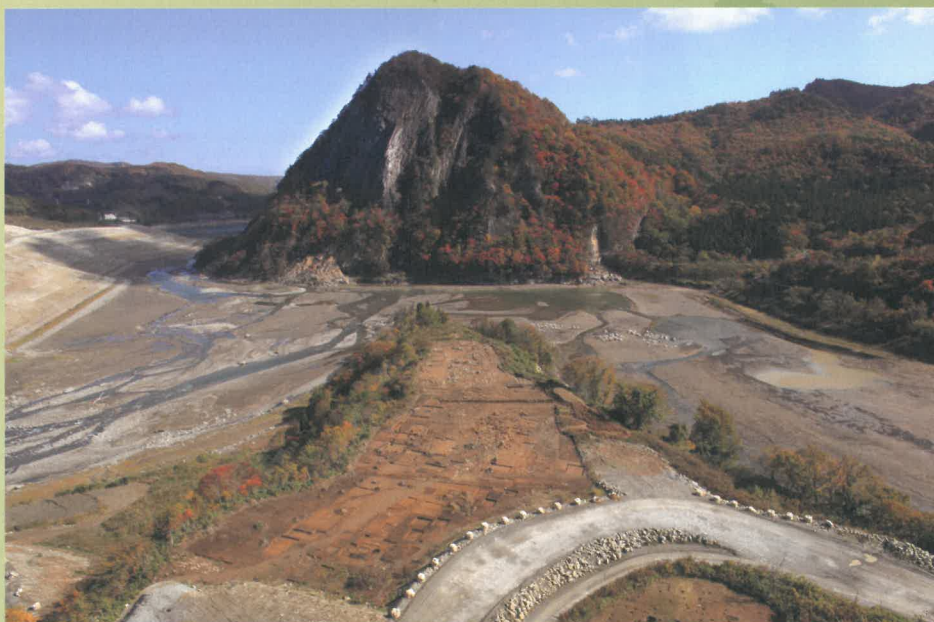
江戸時代

町屋敷遺跡（水沢）
川岸場遺跡（前沢）など

明治時代以降

下嵐江Ⅰ・Ⅱ遺跡（胆沢）

旧石器時代・江戸時代・現代の下嵐江Ⅰ遺跡・下嵐江Ⅱ遺跡（胆沢）
正面は猿岩



掘立柱建物で構成される中林下遺跡（水沢）
平安時代



堀に捨てられた大量のかわらけ
接待館遺跡（衣川） 奥州藤原氏の時代



関東に多い障子堀 中畑城跡（前沢）
戦国時代